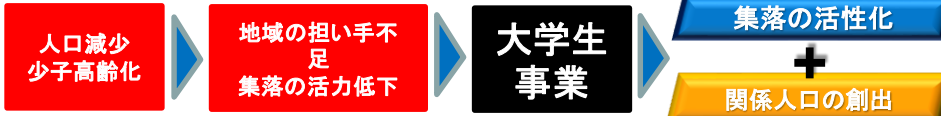




# 大学生と集落の協働による地域活性化事業

福島県 地域振興課  
TEL: 024-521-7114

## 背景・目的



- ◇平成21年度から実施し、これまで**91集落・91グループ**が参加
- ◇主な参加大学: 福島大、東北大、獨協大、宇都宮大、東洋大、宮城教育大、宮城大

R6.3月現在

## 集落活性化の取組

- ◎大学生の持つ**柔軟な視点**や**感性・行動力**を活かした集落活性化
- ◎県内外の若者と集落の交流
- ◎集落の主体的な活動を支援



大学生事業以外の様々な関わり

集落自主活動に係る伴走支援事業

・4年目:  
集落が実施するサポート事業支援

・3年目:  
集落の主体的な取組への伴走支援

大学生の力を活用した集落復興支援事業

- ・2年目: 活性化策に基づいた実証活動
- ・1年目: 集落の実態調査・活性化策提案

<共有・交流>  
地域づくり交流会・誇れる集落発信事業

- ・活動報告会  
⇒ 気づきや学びによる活動の充実
- ・交流会  
⇒ 活動の広がり、地域に対する思いの醸成

## 集落活性化の事例

### 農家民宿でまちおこし

二本松市木幡地区水舟集落  
×  
宇都宮大学 H25~26, H30~R1

農家民宿



- 大学生が**農家民宿ガイドライン**を作成し、農家民宿体験を実施。
- 木幡地区では学生の提案を受け4軒の農家民宿が開業、現在は**8軒が運営中**。

### 竹の活用 SDGs

会津若松市大戸地区  
×  
会津短期大学部 R1~

地域資源



- 伐採した竹を活用し、**竹灯籠**や生活雑貨の製作、竹酢液を使った野菜作りを実践。
- 収穫した野菜は、**地元の高校生や企業と連携**して販売。

### あんぼ柿 復っ活

伊達市梁川町五十沢地区  
×  
東洋大学 H27~30

特産品



- 風評による売上減少、検査に伴うコスト増等により苦戦していたあんぼ柿。
- 市場ニーズを捉えた少量販売、学生考案の包装デザイン、「発祥の地」の売り込みなど高付加価値の商品化に成功。

### 交流活動継続宣言

只見町市沢区  
×  
宇都宮大学 H22~

交流



- 学生とOBが任意団体「D-friends」を結成し、区と**「交流活動継続宣言」**を締結。**年間延べ約200人**が地域を訪問し活動・交流を継続。
- 本事業のOBが**地域おこし協力隊**を経て「森山の分校 ふざわ」の支配人に就任。

## 関係人口・地域の担い手へ

### 地域おこし協力隊

西会津町中町  
×  
福島大学

- Aさんは西会津町民の人柄に惹かれ、令和4年4月より西会津町の**地域おこし協力隊**に着任。
- 集落支援を担当し、西会津町と他の地域をつなぐ架け橋として活躍中。

### 地域おこし協力隊 → 起業

南会津町耻風地区  
×  
獨協大学

- OBさんは大学生事業をきっかけに、南会津町の**地域おこし協力隊**として3年間活動。
- 任期終了後も、**南会津町に定住**し直売所の運営、地元商品の県外への販売、製作したキッチンカーの営業に挑戦中。